

# 未来へ加速！ 新時代の幕開け、住みたいまちNo.1へ



令和7年度大田区予算(案) 区長記者会見

令和7年2月10日



# 大田区基本計画のスタート

## 未来へ加速！新時代の幕開け、住みたいまちNo.1へ スピード感をもって取り組みます



SDGs(持続可能性)・未来志向・安全安心・生活の豊かさ

# 将来像の実現に向けて ～基本構想・基本計画・実施計画～

大田区基本構想で掲げた将来像「心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区」を実現するため、令和6年度中に「基本計画」「実施計画」を策定・公表予定

将来像  
心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区

令和6年3月公表

基本構想

大田区のみぎすべき将来像を提示した、区の最上位の指針

基本計画

基本構想で掲げた将来像を実現するための施策等をまとめたもの

令和7年3月策定  
(予定)

実施計画

基本計画の施策等を推進するための具体的な事業及びその年度別計画をまとめたもの

令和22年  
(2040年)

# 8年後の大田区

令和14年  
(2032年)

令和7年

第1期  
基本計画策定

第1期基本計画  
(8年間)

心豊かに  
日々の生活を  
送れるまち

8年後の  
まちの姿

機能的な  
都市づくりが  
進むまち

デジタル技術を  
活用した  
利便性の  
高いまち

第2期基本計画  
(8年間)

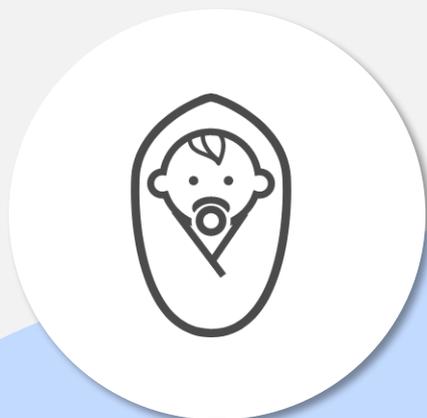
心やすらぎ  
笑顔のまち  
大田区  
未来へはばたく

今の時代の社会動向を踏まえた上で、  
8年後に実現すべき具体的なまちの姿

すべての施策でめざす方向性を合わせ、  
施策を総合的に推進する効果を高める

# 大田区の課題(共通課題)

- ✓ 2040年以降に想定される人口減少社会を見据え、区が意識すべき課題を「共通課題」と定義
- ✓ 共通課題は、分野横断的かつ中長期的な視点から取り組む必要性が高く、地域社会全体にも共通するものであり、区だけでなく、大田区に関わるすべての人々の間で共有すべきもの



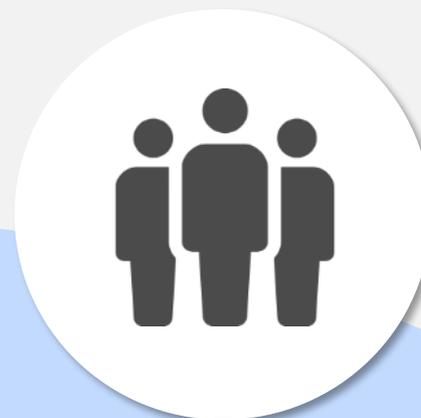
## 少子化

- 大田区の合計特殊出生率は平成27年をピークに減少傾向にあり、令和5年度には、0.96にまで減少
- 令和14年の年少人口は令和5年から約7,000人減少する見込み



## つながりの希薄化

- 区民の4人に1人が普段社会から孤立を感じている
- 高齢者単身世帯(ひとり暮らし高齢者)も今後ますます増加していく見込み



## 担い手不足

- 福祉分野における介護人材不足
- ものづくりや商業分野における後継者不足
- 地域における自治会・町会や地域活動団体での担い手不足が課題

# 基本目標1

基本目標 ▶▶▶

1

## 未来を創り出す子どもたちが 夢と希望をもって健やかに育つまち

### こども・子育て

こどもの意見を尊重する取組を推進するとともに、こどもの権利について広く普及啓発します。

また、子どもたちが相談しやすい環境の整備や居心地のよい居場所づくりを推進します。

妊娠期から段階に応じて切れ目なくサポートが受けられる体制を整備します。  
また、地域の人に見守られ、こどもや子育て家庭が安心して過ごせる環境を整えます。

### 教育

豊かな人間性と確かな学力を身に付けるとともに、創造的な資質・能力や英語での実践的なコミュニケーション能力の育成等により、グローバル社会を創造的に生きるこどもを育成します。

また、子どもたちの可能性を引き出す学校力と教師力を向上させます。

こども一人ひとりの状況に合わせて切れ目なく対応、支援することで、だれもが自分らしく学べる教育環境を整えます。

また、学校施設の更新など安全・安心で快適に過ごせる魅力ある教育環境づくりを推進するとともに、子どもたちの個性と能力を伸ばす柔軟で創造的な学習空間を整備します。



# 基本目標2

基本目標 ▶▶

2

## 文化を伝え育み

### 誰もが笑顔でいきいき暮らすまち

#### 福祉

高齢者や障がいのある人等、それぞれの尊厳が尊重され、安心して暮らせるよう、福祉サービスや生活支援等を充実します。

また、本人の意思を大切にする権利擁護に関する理解を深めるための仕組みづくりを進めます。

#### 地域づくり/共生/多様性

多くの区民や多様な主体が、地域の支えあいの活動に参加できるきっかけや場を創出します。また、誰一人取り残されることのない支援体制を強化し、つながりを感じる地域づくりを進めます。

多文化共生や、多様性を認めあう意識が浸透するよう、支援や理解啓発に取り組みます。

#### 健康

若い世代から生涯を通じて、心身の健康が維持されるよう、科学的根拠に基づく健康啓発等を展開し、健康まちづくりを推進します。

地域医療体制の充実のほか、健康危機に対する安全・安心の体制を整備します。

地域づくりの循環

#### スポーツ/文化/学び

年齢や障がいの有無等にかかわらず誰もが、身近にスポーツ・文化を楽しみ、学びを深めることができ、区民一人ひとりの心が潤うような機会の提供や環境の整備を行います。

また、これらを地域の課題解決や活性化にもつなげます。



# 基本目標3

基本目標 ▶▶

3

## 豊かな環境と産業の活力で

## 持続的に発展するまち

### 環境

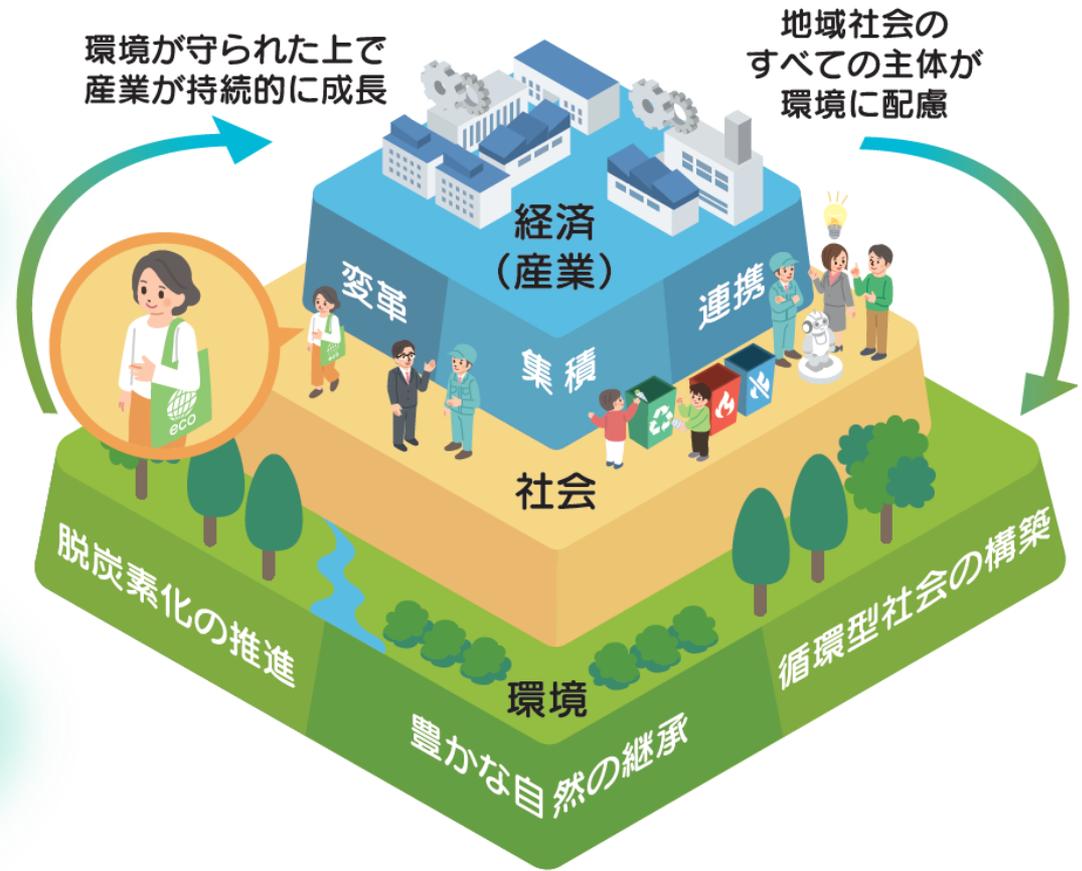
区民・事業者・区が一体となって、温室効果ガス排出量の削減に取り組むため、脱炭素ライフスタイルへの転換や、脱炭素まちづくりを推進します。また、循環型社会の構築に向け、ごみの減量や資源循環に取り組みます。

豊かな自然を後世に継承するため、生物多様性や地球環境に配慮した社会づくりを進めます。

### 産業

区内企業が自ら変革し挑み続ける取組を支援するとともに、区の強みである高い技術力の継承や産業集積のための立地支援を行います。

また、創業支援や企業同士の交流・連携を促進し、イノベーションの創出を推進するとともに、商店街の支援や、観光資源の積極的な情報発信により、地域経済の活性化に取り組みます。



# 基本目標4

基本目標 ▶▶

## 4

### 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち

#### 都市づくり

蒲田駅・大森駅を中心拠点や、下丸子駅・平和島駅などの身近な地域において、魅力的な都市空間を計画的に整備します。

また、空港に隣接した立地を活かし、世界と日本をつなぐ空港臨海部のまちづくりを進めます。



#### 快適

新空港線の整備促進や区内公共交通の改善などにより、誰もが移動しやすい交通ネットワークを形成します。

また、日常生活に密着した生活道路や橋の維持管理、空家対策などを進め、快適に暮らし過ごせる都市基盤と住環境を整備します。

#### 安全・安心

耐震化・不燃化などを進めることで、区民の生命・財産を守る災害に強い減災都市を実現します。

さらに、区民一人ひとりの防災・防犯の意識を高め、安心できるまちづくりを進めます。

#### 公園・みどり

子育てや健康づくりがしやすく、子どもたちが楽しく自由に遊べる公園をつくります。

また、身近な場所で水やみどりに親しむことができる、やすらぎのあるまちづくりを進めます。

# 基本計画を進めていくための主な組織改正

## 「地域未来創造部」の設置

- ◆区民が住み慣れた地域でいつまでもいきいきとした生活を送れるよう、生涯学習やスポーツ、文化芸術と地域の活性化を一体的に推進

## 「資源環境部」の設置

- ◆環境政策を効果的かつ一体的に行い、脱炭素化や循環型社会の構築、貴重なみどりや生物を未来に残す環境づくりを推進

## 「こども未来部」の設置

- ◆こどもたちが夢と希望をもって健やかに育つまちの実現に向け、子ども・若者の総合相談窓口や子どもの貧困対策などを含め、切れ目なく総合的かつ一体的なこども施策を推進

## 「まちづくり推進部」にて “空港臨海部のまちづくり”を推進

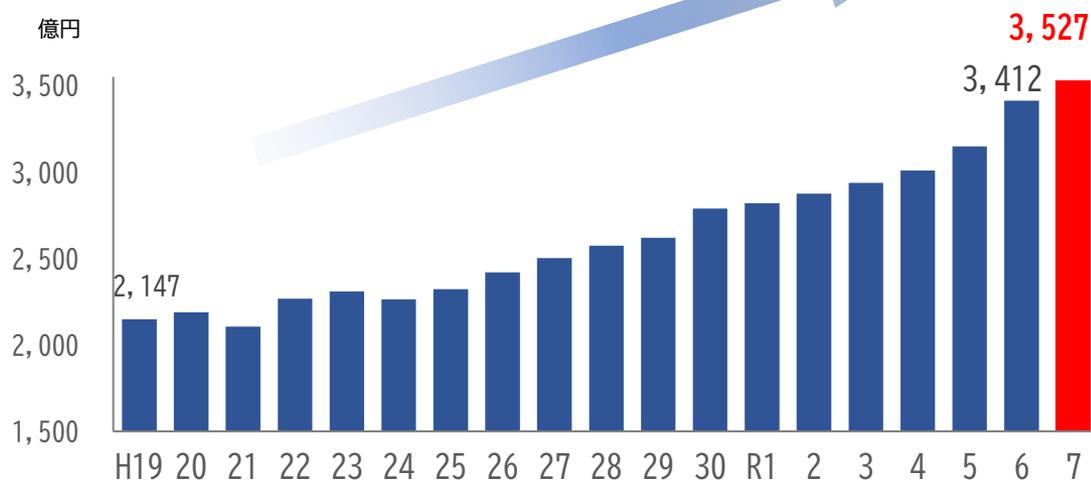
- ◆これまでの空港跡地利用の取組みなどを受け継いだうえで、臨海部等周辺地域と一体的な施策の展開を図り、世界と日本をつなぐ空港臨海部のまちづくりを推進

# 令和7年度予算規模について ～ 一般会計 ～

- ✓ 令和7年度予算規模は3,527億円と過去最高  
前年度当初予算対比で3.4%増

款	予算 (千円)	構成比(%)
議会費	1,149,299	0.3
総務費	46,492,935	13.2
福祉費	182,412,929	51.7
衛生費	11,819,248	3.4
産業経済費	12,841,074	3.6
土木費	22,322,525	6.3
都市整備費	11,696,215	3.3
環境清掃費	13,869,090	3.9
教育費	46,981,107	13.3
公債費	1,818,343	0.5
その他	1,306,822	0.4
合計	352,709,587	100.0

■ 予算規模の推移 (当初予算)



# 予算のポイントについて

令和7年度  
予算の位置づけ

心やすらぎ 豊かさと成長を実感できる  
新しい次代に向け 力強く踏み出す予算

- ✓ 基本計画・実施計画の初年度 “新たなスタートライン”
- ✓ 未来志向の戦略的な投資を着実に推進

## 予算編成の重点ポイント

- 1 安心してこどもを産み育て、  
学びの充実による人づくりに資する施策
- 2 心豊かな包摂社会の実現に向けた  
地域づくりに資する施策
- 3 豊かな環境と産業の活力で  
持続可能な基盤づくりに資する施策
- 4 安全・安心で魅力と利便性あふれる  
まちづくりに資する施策

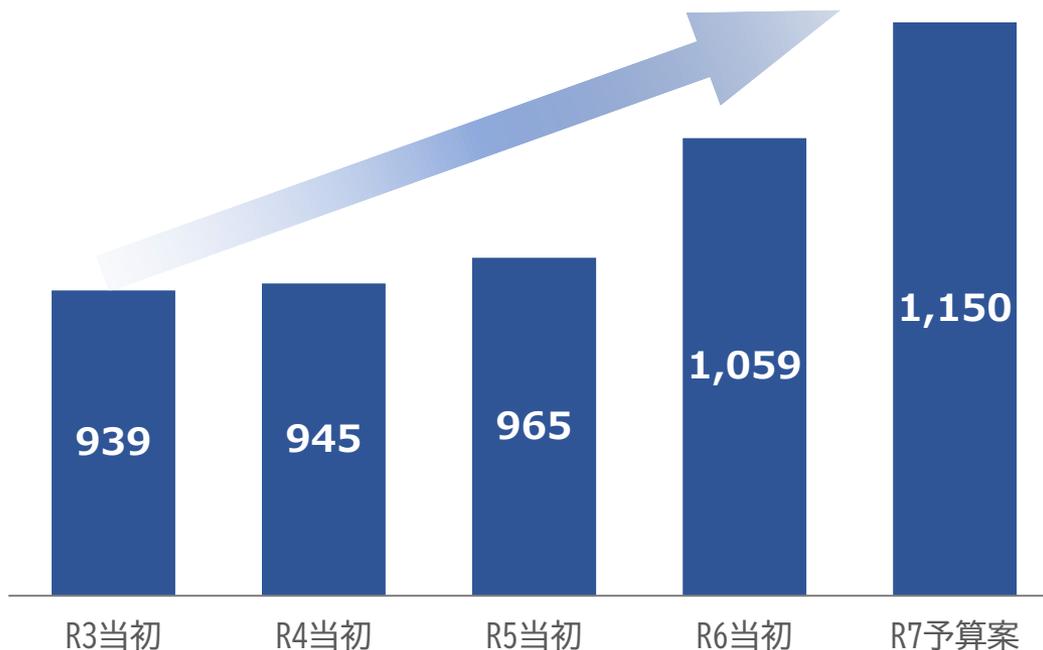
# 予算のポイントについて ～ 子育て支援策 ～

- ✓ 子育て支援策に係る経費は約1,150億円、  
予算全体の**3割超**



## ◆子育て支援策に係る経費の推移

(単位：億円)



大田区基本構想に掲げる

“未来を創り出すこどもたちが夢と  
希望をもって健やかに育つまち”

の実現に向け、

子育て世帯に選ばれる自治体と

しての支援・サービスを充実

# 「人への投資」の強化

## 令和7年度予算事業(人材育成・確保策) **新規**

### ものづくり等人材確保のための奨学金返還支援事業

奨学金を返還している求職者の方(40歳未満)が、区内中小製造業・運輸業・建設業に新たに就職し、大田区内に居住または転入した場合、奨学金返還額の半額(上限10万円/年)を最長5年間助成

### 福祉現場におけるハラスメント対策事業

区と事業者共通の対策・対応マニュアルの作成、区内福祉事業者向けの研修会の実施

### 保育人材の確保及び定着に係る支援の拡充

保育士相談窓口の設置、潜在保育士の就労(復帰)支援



## 区のカスタマーハラスメント対策 **新規**

### 主な取組内容

- ①対策の策定と実施    ②法的対応と助言    ③情報発信と啓発活動    等

# 人にやさしい未来へ ～DXで加速する自治体の変革～

## 区の新たなDX推進の目指す姿

「一人ひとりの幸せをかなえる～人にやさしく変革を続ける大田区～」  
実現のため、自治体DXを加速し、さらなる区民生活の向上を図ります！

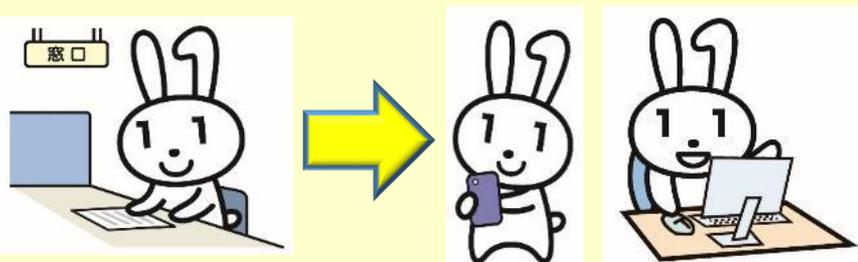
### 今後のDX推進の重点施策

#### ◎窓口DX

・区民サービスの向上と職員の業務効率化

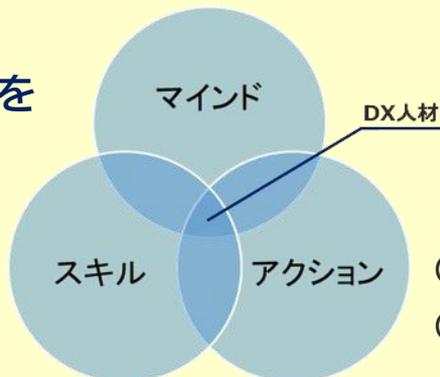
#### ◎行政手続きのオンライン化

・区民生活の利便性向上



#### ◎デジタル人材の育成

・社会変化に応じたDXを  
主体的に実施できる  
人材・組織構築



<DX人材の条件>

○マインド：ユーザ目線、長期的な展望

○スキル：デジタルに関する基本的な知識

○アクション：交渉・折衝、プロジェクトの適正管理

### 令和7年度の主なDX事業

#### ◎オンライン申請・サービス関連

・手続きガイド導入による窓口サービスの向上

#### ◎デジタル人材の育成

・DX人材育成支援業務委託

#### ◎キャッシュレスの推進

・うぐいすネット集会施設オンラインキャッシュレス導入

上記含む64項目

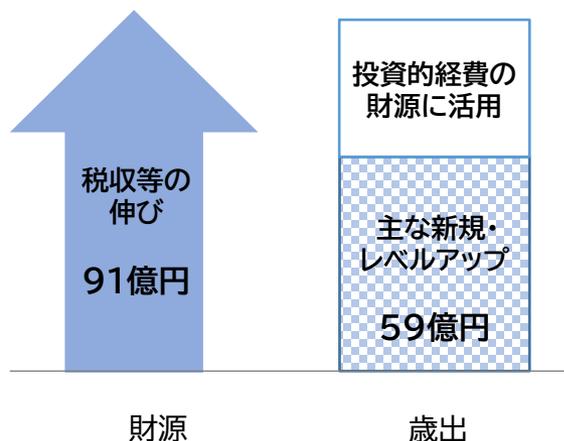
25億5,749万6,000円

# 予算編成上の工夫

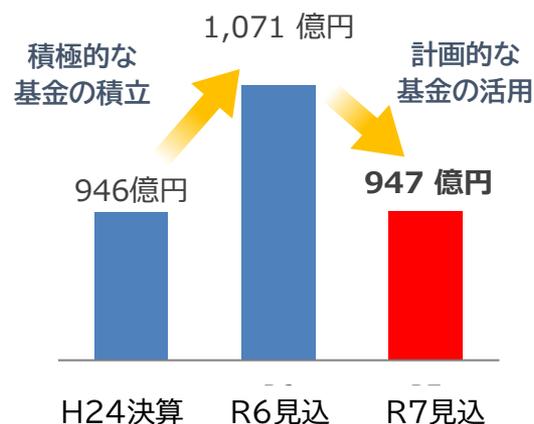
## “ 施策の新陳代謝 ” と “ 財政対応力の戦略的な活用 ”

- ✓ 令和7年度の基幹財源等収入は、前年度比91億円増の2,002億円
- ✓ この増収分は、新たな取組や事業拡充などに活用
- ✓ 区の公共施設は築40年以上の施設が全体の半数を占めており、喫緊の課題
- ✓ 財源として、基金と特別区債を戦略的に活用

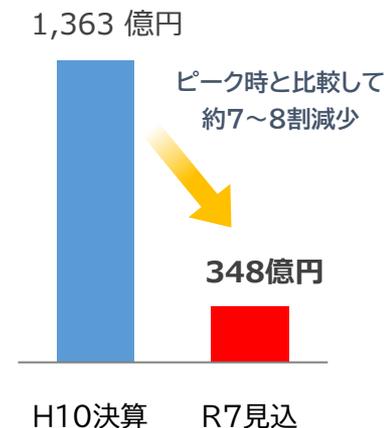
### ◇主な新規・レベルアップ事業の財源



### ①主な基金残高の推移



### ②特別区債残高の推移



◆限りある経営資源を効果的・効率的に配分

◆未来への投資や新たな財政需要に応える予算

こども、子育て家庭へ切れ目のない支援の充実

妊娠

出産

1歳

2歳～

【新規】こどもの育ち等に関するポータルサイト、母子保健・子育て支援アプリ

【拡充】にこにこサポート (産後ドゥーラ派遣)

【拡充】産後ケア (医療職による心身のケア等)

【拡充】乳幼児ショートステイ

【拡充】ぴよぴよサポート(ヘルパー派遣、2歳まで)

【新規】ベビーシッター利用支援 (未就学児まで)

【拡充】ひとり親家庭等ホームヘルプサービス (所得制限撤廃、中学3年生まで)

【新規】おたふくかぜ予防接種費用助成(6歳まで)

【拡充】5歳児健康診査



すべてのこども・子育て家庭を誰一人も取り残さず、必要とする支援を切れ目なく実施していきます

こども、子育て家庭へ切れ目のない支援の充実

**【新規】ベビーシッター利用支援**

- ✓ 未就学児1人あたり年間144時間まで利用料を補助
- ✓ 補助上限は利用時間帯により1時間2,500円まで又は3,500円まで
- ✓ 令和7年度中に開始予定



**【拡充】産後家事・育児援助  
(にこにこサポート・ぴよぴよサポート)**

- ✓ にこにこサポートは「妊娠期」から産後「1年」以内まで利用可能、上限も30時間まで大幅に拡充  
初回2時間は無料に
- ✓ ぴよぴよサポートも年間上限30時間まで拡充



**【新規】情報発信力の強化  
(令和7年度中に開始予定)**

- ✓ こどもの育ちや子育て支援に関する専用ポータルサイト構築
- ✓ 母子保健・子育て支援アプリの導入
  - ・ 予防接種等スケジュール管理
  - ・ 各種教室等の予約
  - ・ 区からのお知らせ配信
  - ・ 健康記録の入力



**【拡充】5歳児健康診査**

- ✓ 対象者の拡大
  - ・ 区立認可保育園全園
  - ・ 区内私立認可保育園協力園
  - ・ 幼稚園 3園 など



◆国際教育の推進 ～おおたグローバルコミュニケーション(OGC)事業の拡充

区立全小学校第1・2学年の外国語教育指導員(ALT)の配置時数増を25時間へ

区立中学校全学年では70時間へ

早いうちにネイティブ・スピーカーの発音に多く触れ、正しい発音を身に付け、コミュニケーション活動に積極的に取り組む力を育みます。



OGCルームでの授業風景

OGCルーム(海外体験ルーム)をおおた国際教育推進校の羽田中学校に設置

デジタル技術を活用した海外疑似体験ができる授業を展開。英語を使って実践的なコミュニケーション力を育みます。

◆区独自教科「おおたの未来づくり」の実施

「創造的な資質・能力」の育成を目指し、STEAM教育等の教科等横断的な学びを推進する教科「おおたの未来づくり」を区立小学校で全面的に実施します。また、中学校版「おおたの未来づくり」の実施に向けた研究を進めます。



「ものづくり」ロボットプログラミングの取組

◆不登校施策の推進

ふれあいすぬま跡へ、学校型の学びの多様化学校を新築により設置し、令和12年度の開校をめざしています。

学校において、不登校に関する教員研修及び校内教育支援センター(校内別室環境)の環境整備を進めるとともに、みらい学園の相談体制を強化・拡充します。

また、調布地区につばさ教室を新たに開室することで不登校施策をさらに推進します。

◆おいしくて健康になる食育の推進

～ 区立小中学校の給食費無償化及び東邦大学と連携した食育の研究と実践 ～

学校給食の質の確保と食育の推進を図るため、令和7年度も区立小中学校の給食費の無償化を実施します。

こどもたちの健康増進に向けて東邦大学と連携し、令和6年度に開発した給食献立の全校展開及び家庭への健康に関する情報発信を引き続き実施します。



- ① お 大田区うまれの「あげパン」
- ② お 大森の「のり」
- ③ た 「たこぺったん」食べよう
- ④ く 食いしん坊 はねびよん

おおたの学校給食  
キャッチフレーズ

◆特別支援教育の推進

自閉症や情緒障がいにより在籍学級での学習に適應することが困難な状況にある児童・生徒の支援先として、「自閉症・情緒障害特別支援学級」を令和7年度開設予定の嶺町小学校と蒲田中学校に続き、令和8年度に道塚小学校に開設するための環境を整備します。

◆部活動の地域連携・地域移行の拡大  
(ハイブリッド型)

令和6年度から一部の中学校で部活動を3つの指導者パターン(地域スポーツクラブや民間事業者、教員・校外指導員、部活動指導員)に分類、それらを組み合わせて配置し、事業実証を行っています。

令和7年度はモデル校を新たに9校追加し、計14校に拡大します。

◆学校休業日等における放課後ひろば、児童館の開室時間の前倒し

いわゆる「小1の壁」による子育て家庭の負担を軽減するため、令和7年度の夏季休業期間から試行的に、学校休業日等における学童保育の時間を早め、午前8時から開室します。

## ◆【新規】東京2025デフリンピック気運醸成事業

令和7年11月に日本で初めて「夏季デフリンピック競技大会 東京2025」が開催されます。

競技会場を有する自治体として、地域全体でデフリンピック競技大会を盛り上げ、聴覚障がい者への理解を深め、共生社会の実現を図ります。



大田区総合体育館  
(バスケットボール)



大森ふるさとの浜辺公園  
ビーチバレー場  
(ビーチバレーボール)

## ◆区民スポーツまつり

毎年スポーツの日に、様々なスポーツ種目に親しみ、スポーツへの関心と理解を深め、健康づくりなどを行うため「大田区区民スポーツまつり」を開催しています。

区内各所で様々なプログラムを実施するため、参加者が各会場を回遊できるイベントです。



## ◆おおたランニングフェスティバルの開催

こどもから大人まで、初心者から競技性を求める方まで、一人でも家族や友人等と一緒に楽しめるランニング大会を開催します。

サブイベントとして各種スポーツ体験会を実施することで、区民の健康増進やスポーツ実施率の向上を図ります。



## 郷土博物館企画展・龍子記念館特別展・熊谷恒子記念館かなの美展の開催

### ■ 郷土博物館企画展

テーマ:企画展「高橋松亭×川瀬巴水」(仮称)  
会期:10月7日(火)～11月24日(月・祝)(予定)



【高橋松亭「池上」  
『都南八景之内』大正11年1月】



【川瀬巴水「池上市之倉(夕陽)」  
『東京二十景』昭和3年作】



【渡邊版画店の仕事場風景  
『ジャパン・ツーリスト・ビューロー』1936年4月号】

### ■ 龍子記念館特別展

テーマ:川端龍子生誕140年特別展  
「川合玉堂と川端龍子」(仮称)  
会期:10～11月(予定)



【談笑する玉堂(写真左)と  
龍子(写真右)(昭和30年頃)】

### ■ 熊谷恒子記念館かなの美展・地域連携プログラム

テーマ:地域連携プログラム「東京手描友禅 染色の技巧」(仮称)  
会期:令和8年2月21日(土)～3月22日(日)(予定)



【町田久美子「東京手描友禅」】

「カーボンニュートラルの実現」への行動変容の促進



区民の行動変容促進に向けた省エネ機器等助成事業

家庭用燃料電池(エネファーム)の設置助成を拡充します。機器導入により削減したCO<sub>2</sub>を「見える化」します。

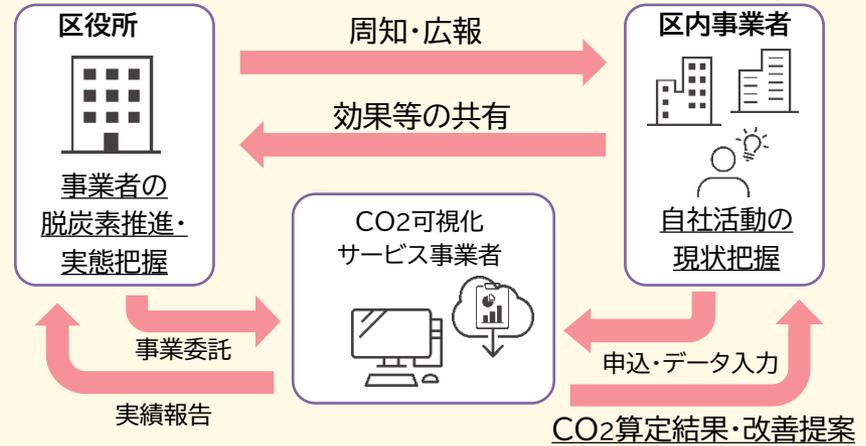
省エネ機器



事業者の行動変容促進に向けたCO<sub>2</sub>可視化システム導入支援事業

区内事業者を対象として、CO<sub>2</sub>排出量を簡易に「見える化」できるシステムの導入を支援します。

CO<sub>2</sub>可視化システム



見える化

【新規】  
産業のまち未来基金の創設

産業のまち未来基金  
55億円

原資にして



区内産業の経営基盤強化支援



区内産業集積の維持・発展

【新規】  
ものづくり等人材確保のための奨学金返還支援事業

区内中小製造業  
運輸業・建設業  
に就職

+

奨学金返還  
大田区居住  
(40歳未満)



奨学金返還額の  
半額を助成  
(上限10万円/年  
5年間分)

- ・人材確保が厳しい区内中小企業の採用を支援します。
- ・区内在住・在勤する若年層の経済的負担を軽減します。

キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン事業

日常的にキャッシュレス決済を行える環境整備を目的に、「キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン」を実施し、区内中小個店における民間キャッシュレス決済サービスの導入を促進します。

【キャンペーン概要(予定)】

還元率 20%  
付与上限 2,000ポイント/回  
5,000ポイント/期間  
実施時期 秋頃



イノベーション創出の推進

【新規】1 オープンイノベーション促進事業

区内企業 (匠の技術) × スタートアップ等

オープンイノベーション創出



地域課題解決・新技術等の集積

- ✓ 地域課題解決に挑戦
- ✓ 切れ目なく支援  
(実証実験から実装まで)

2 実証実験・実装促進事業

## ◆躍進する防災対策

### DXを用いた被災者支援

#### 大田区防災アプリのアップデート

大田区防災アプリに、マイナンバーカード情報及び二次元バーコードを活用した避難所入退所機能を実装します。



#### 被災者生活再建支援システムのさらなる活用

マイナポータルと連携させ、り災証明書発行申請のオンライン対応を行います。  
また、システムの運用を応急危険度判定にも拡充します。

### 【新規】最適な災害時物流体制の構築

災害時と平時の物流管理について構想をまとめ、災害時物流最適化計画を策定します。  
これにあたり、各倉庫を点検し、備蓄品目や数量、倉庫の立地や輸送経路といった要素から、倉庫内のレイアウト、備蓄品の維持管理方法の最適化を検討します。



### 【新規】復興に向けた事前対策

#### (仮称)大田区復興事前方針の策定

大規模災害発生後の復興方針について、あらかじめ事前方針を策定します。  
既存2計画と合わせた三位一体の計画として定めることで、総合的に防災対策を推進します。

大田区地域防災計画

(仮称)  
大田区復興事前方針

大田区国土強靱化地域計画

### 実践的訓練の深度化

#### 災害対策本部運営訓練の実施

発生時における防災関係機関との連携や、災害時協力協定内容の実践検証を行い、最新の防災対策を「総合防災訓練」に反映させます。



#### 総合防災訓練の実施

区と地域が共に実施します。  
区ホームページ等を活用して訓練成果を広く共有することで、地域の災害対応力の向上に繋がります。



## ◆防犯対策のさらなる推進

### 青色回転灯パトロールカーの運行拡充

首都圏を中心に匿名・流動型犯罪グループによる強盗事件が発生していることから、青色回転灯パトロールカー(青パト)の運行時間を拡充します。これまで実施してきた午後からの運行を、登校時間帯から実施することにより、不審者に対する警戒、公園や無人ATM、駐輪場などの見回りを強化します。



【青色回転灯  
パトロールカー】

### 防犯カメラ整備補助事業

地域団体が設置する防犯カメラの助成金を増額し、地域団体による自主的な防犯活動をサポートします。また、防犯カメラが設置されていることを路面などに表示し、アピールすることで犯罪の発生を未然に防ぎます。



【防犯カメラ】



【路面シート  
イメージ図】

### 自動通話録音機の無料貸与

特殊詐欺対策に効果のある自動通話録音機を、おおむね65歳以上の区民に無料で貸与します。



【自動通話録音機】

近年の気候変動により水害が激甚化・頻発化していることなどを踏まえ、区民の生命と財産を守ることを目的に、区内全域を対象とした「大田区高台まちづくり基本方針」に基づくまちづくりを推進していきます。

令和7年3月 「大田区高台まちづくり基本方針」の策定



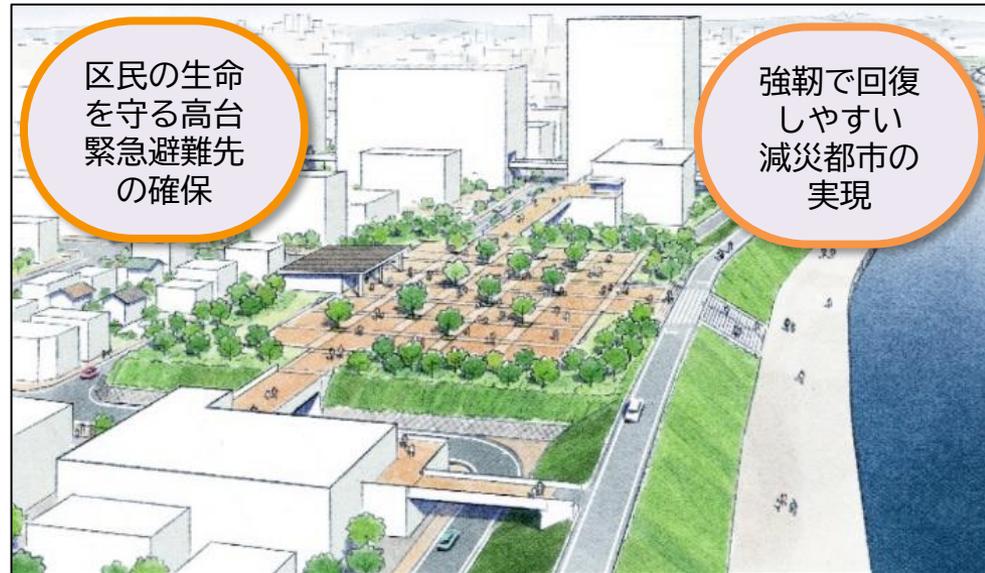
「大田区高台まちづくり基本方針」に基づく事業の推進

- 【短期】高台緊急避難先の確保
- 【中期】高台拠点の整備
- 【長期】多摩川の高規格堤防整備に合わせた減災都市の整備



【高台不足状況の分析結果】

(出典)大田区高台まちづくり基本方針(素案)



【高台まちづくりのイメージ】

(出典)国土交通省HP「災害に強い首都「東京」形成ビジョン「高台まちづくりのイメージ」より

## 災害に強く回復しやすい減災都市の実現

### 燃えない・燃え広がらないまちづくり

- ・羽田地区重点整備路線の拡幅整備
- ・除却及び耐火性の高い建築物への建替え費用助成

### 倒れないまちづくり

- ・旧耐震基準建築物耐震化費用助成
- ・【新規】新耐震基準木造住宅の耐震設計・工事助成

### がけ崩れ災害の防止

- ・がけ等整備費用助成・アドバイザー派遣
- ・【新規】がけ改善対策(工法等)の提案

個別説明・  
相談

多様なアプローチで  
災害に強いまちを実現

技術支援

費用助成

## 大田区緑の基本計画グリーンプランおおた

▶ 都市緑地法第4条に基づく緑地の保全、緑化の推進に関する基本計画

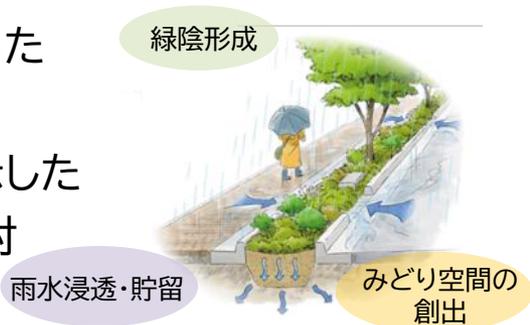
## グリーンインフラとは

▶ みどり空間を活用した緑陰形成による暑熱環境の改善や、雨水貯留による防災・減災機能の充実など、まちづくりの課題解決に寄与する取組



## 大田区グリーンインフラ事業計画の推進

- ・ 事業計画に基づいた取組推進
- ・ 取組導入例等を示したガイドラインの検討



## 【新規】田園調布区民農園跡地の買戻し・整備

- ・ 田園調布区民農園跡地の再整備
- ・ 区民農園の整備時に雨水浸透等のグリーンインフラの機能導入  
⇒ まちづくりの課題解決へ寄与



## 誰もが移動しやすい交通ネットワークの形成

持続可能な地域公共交通環境の形成に向けて、自動運転バスの実証実験を継続的に実施。



## ◆ 魅力的な公園創造プロジェクト推進事業



## ◆ 公園のリニューアル

区民のニーズに応える **特色のある公園づくり** を進めます。

健康づくりができる公園



子育てを支援する公園



ボール遊びができる公園



◆(仮称)羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園整備・運営  
～HANEDA GLOBAL WINGSのまちづくり～

提案：イメージパース



【区が目指す5つの方向性】



【提案：公園のコンセプト】

HANEDA “えん” PARK

～いにしえと今、そして未来を“えん”でつなぐ～



地域住民・団体との“縁”  
つながりを生み出す“円”  
成長を続けるみんなの“園”

大屋根

民間施設

◆新空港線(蒲蒲線)整備と沿線まちづくりの推進

大森駅周辺地区

- 駅西側補助28号線と西口広場の整備
- 長期的な視点での周辺地区の一体的なまちづくり

平和島駅周辺地区

- ◇ 平和島駅周辺地区グランドデザイン
- 駅前周辺歩行者環境の改善

京急蒲田駅周辺地区

- 西口センターエリア北地区の市街地再開発事業等の都市計画決定

蒲田駅周辺地区

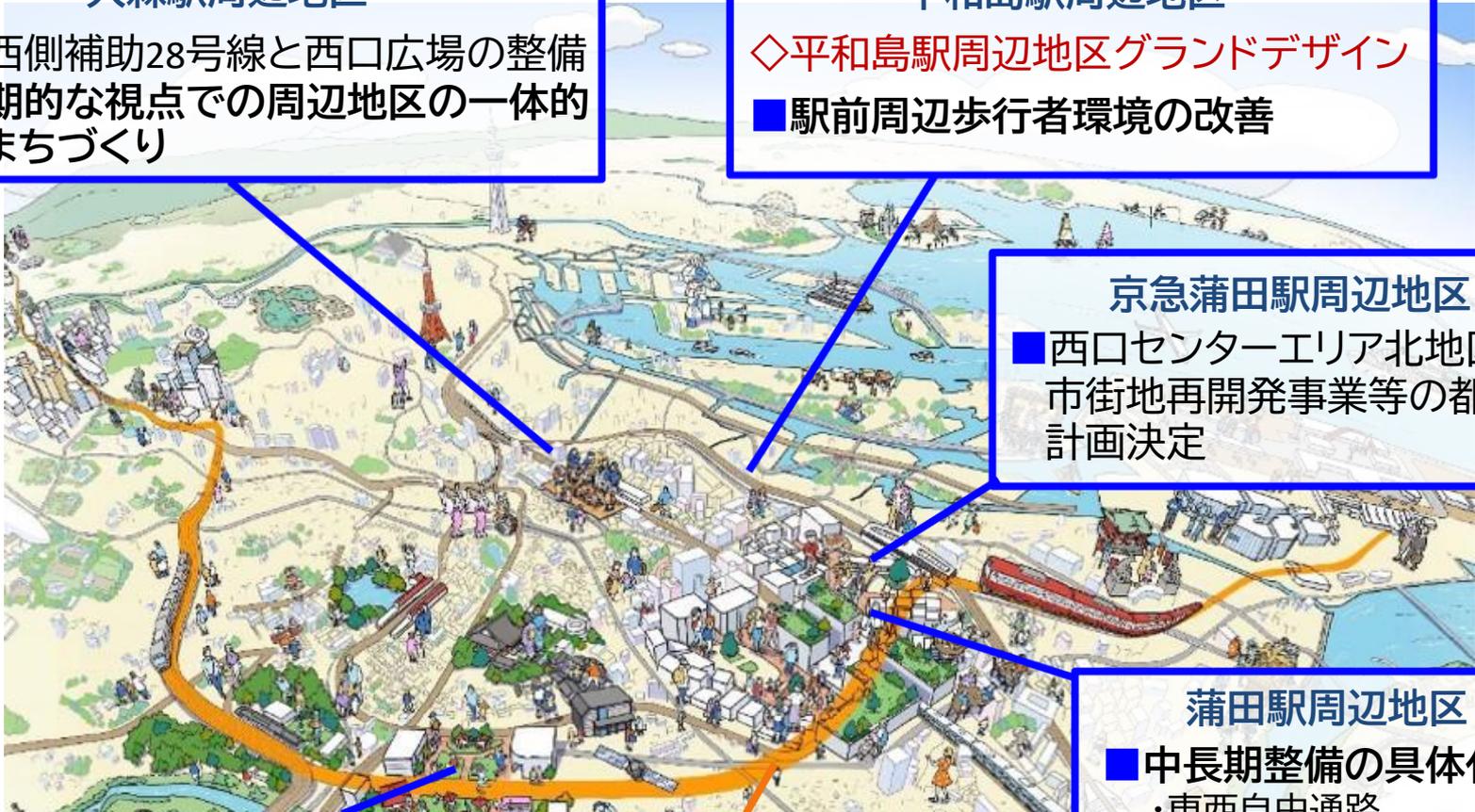
- 中長期整備の具体化
  - ・東西自由通路
  - ・東西駅前広場
  - ・駅舎・駅ビル
- 駐車場の適正配置
- 周辺街区の建替え

下丸子駅周辺地区

- 踏切対策と駅周辺の一体的なまちづくり
- 地域住民等のまちづくり機運の醸成

新空港線(蒲蒲線)の整備

- 第一期(矢口渡～京急蒲田)の事業化支援
- 第二期(京急蒲田～羽田空港方面)計画の検討





JR・東急蒲田駅周辺の絵東西自由通路  
(将来イメージ)

京急蒲田センターエリア北地区  
イメージパース

# ふるさと納税返礼品の拡充

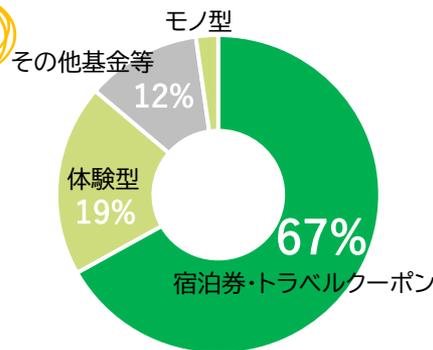
## 大田区らしい返礼品による魅力発信



- ✓ 区の魅力ある取組・資源をプロモーション
- ✓ 空港所在都市として羽田空港などの魅力を活用
- ✓ 区内事業者からも広く公募で募集

寄付者を「魅了する」返礼品の拡充

## 宿泊券・トラベルクーポンが好評



✓ 寄付額の **約7割**

※ふるさと納税サイトを通じた寄附  
※令和6年12月末時点

## 現地決済型寄付の導入



- ✓ 観光・宿泊等で区へ来訪された方向け
- ✓ 手軽に寄付できる環境を新たに整備

ふるさと納税を活用した「訪れる」の創出

